

European Congress of Radiology 2025

高野 雄大

北海道大学病院 放射線診断科

2025年4月1日論文受領、最終受理2025年4月4日

この度、European Congress of Radiology (ECR) 2025に参加しましたので、ご報告させていただきます(図1-A)。ECRはオーストリアのウィーンで毎年開催されるヨーロッパ最大の放射線学会で、今年は2月26日から3月2日までの5日間開催されました。私自身は初めての国際学会でしたので、大変緊張しましたが日本からの参加者の方々にもお世話になりながら貴重な経験ができたと思っております。

私は「Diagnosis of thyroid cartilage invasion by laryngeal and hypopharyngeal cancers on CT with deep learning」という演題でポスター発表を行いました(図1-B)。会場の一区画にポスター発表ブースがあり、タッチパネル式の液晶画面上に事前に登録してあるポスターを検索して表示する方式でした。初日は画面の前に並んで記念撮影をされている方で大変混雑しており、私もその列に紛れて近くの方にお話し撮影して頂きました。ECRでは会場の至る所にリンゴと洋梨が置かれ自由に食べることができ、撮影時は私も会場の雰囲気

ならってリンゴを片手に持っていました。

会場では教育講演やイメージ・インタープリテーション、企業展示等、様々な催しがあり、現地以外でもオンライン上で視聴可能な講義・講演も多数ありました。また、AIに関するブースが広く取られており、どのブースよりも混雑していた印象でした。私は主に頭頸部に関するセッションに参加しましたが、頭頸部は日本ではマイナーな印象ですが、ヨーロッパでは立ち見が出るほど人気のセッションも多くありました。参加者の熱気を肌で感じることができ、私も大変多くの刺激をもらいました。

今回、宮坂アワードのご支援を受けてこのような貴重な機会を得ることができたことにこの場をお借りして感謝を申し上げます。また、発表にあたり藤間先生をはじめご指導いただきました先生方に深く御礼申し上げます。今回、得られた知識や経験を今後に活かし、さらに研鑽を積んでいきたいと思っております。

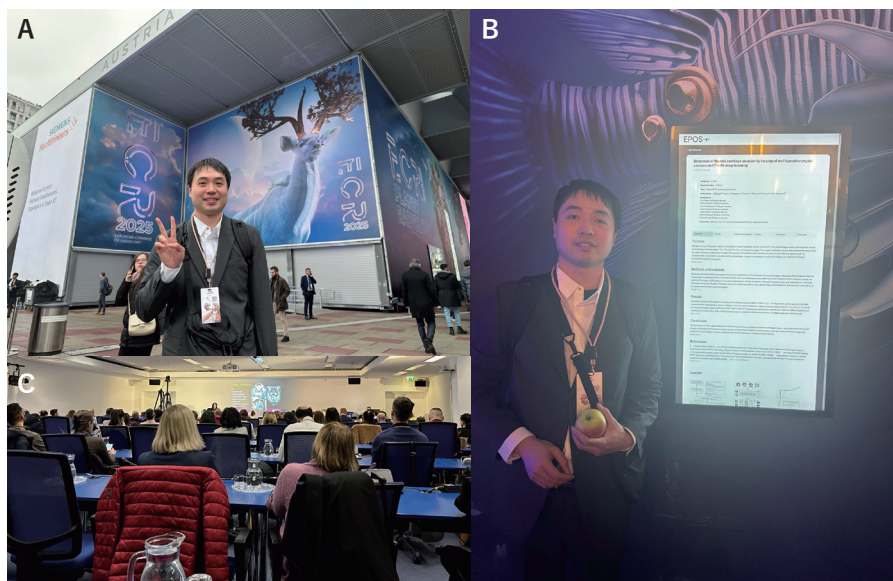


図1 ECR2025会場にて (Austria Center Vienna)